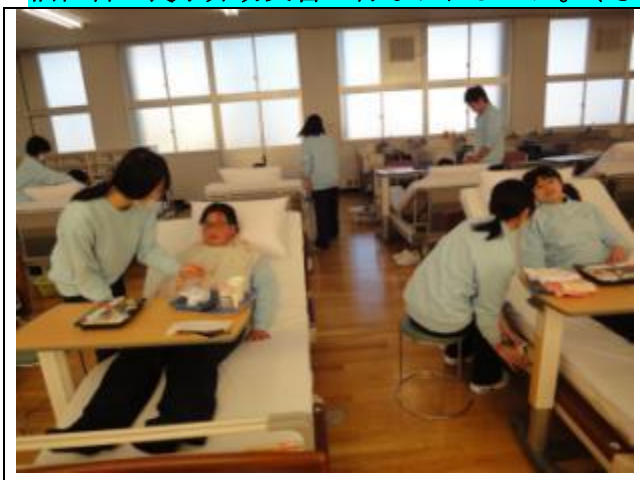
福祉科の食事介助実習が行なわれました。（その２）

平成２４年１月２６日（木）



食事の用意をします。食事にふさわしい環境作り

エプロンを着せてあげました。

何から食べたいか聞いてから、少しずつ。

ゆっくりと口に入れてあげます。

大きいおかずは、小さく切ってから

左片麻痺の利用者になり切っていました。

笑顔で接しながら、やさしく食べさせる。

途中で、水分を飲んでもらいます。

介護者と要介護者の信頼関係がとても大切だということでした。（コミュニケーションを図る）

アイマスクをして、目の見えない人の食事介助

何を食べさせるのかを話して、安心して食べてもらう。

目が見えない場合は、大変なようでした。

車椅子に乗った人の食事の介助もしました。

使った食器やはしなどは自分たちで洗って、交代

どれがいいかな？　思わず笑顔が・・・

介護者のやさしさが伝わって来ます。

こんな介護者に介助してほしいと思いました。

介助するには、いろいろ配慮しなければならないことがあり大変なようですが、みんな、笑顔で一生懸命取り組んでいる姿に、とても好感が持てました。介護福祉士への道を一歩一歩確実に進んでください。